



編集雑記

既刊案内 (特集・主要記事)

[5月号]

◎「シリーズ 次代を担う衛生・環境工学者 No.30」立命館大学理工学部都市工学科 教授 惣田 訓氏を訪ねて 微生物を活用し排水処理に取り組む～新たに人工湿地を活用し 釜山排水処理、インド工科大学との交流も～水道ネットワーク通信 有村源介 ◎「ホテル又は旅館における高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計基準(追補版)」の公表…国土交通省 ◎「国土交通省インフラシステム海外展開行動計画2019」を決定…国土交通省 ◎平成31年度における環境物品等の調達推進を図るための方針…環境省 ◎土地や建物に関して地方公共団体が保有するビッグデータ(都市計画基礎調査)のオープン化を進めます!…国土交通省 ◎平成30年度地中熱利用状況調査の結果について…環境省 ◎新たな「水辺を生かしたまちづくり」が始動～全国22箇所の「かわまちづくり」計画を新規登録!…国土交通省 ◎FIT制度における2019年度以降の買取価格・賦課金単価等を決定…経済産業省 ◎主要都市の地価は97%の地区で上昇基調～平成30年度第4 四半期は、長野駅前でははじめて上昇…国土交通省 ◎福島復興の現状を伝える動画を作成しました…経済産業省 ◎平成30年度「土砂災害防止に関する絵画・作文」入賞作品決定…高度交通省 ◎「明日への道標」地を異にする心はおなじ～社会界の華 陸奥亮子～(株)日本設備工業新聞社 代表取締役社長 高倉克也 ◎「新連載」どうする? 地方小規模水道(2)富良野高校×北海道総研×北大の取り組み…水道ネットワーク通信 有村源介 ◎「東京ブラリルポ」聖蹟桜ヶ丘近辺 明治天皇の騎馬像 満州開拓民の鎮魂碑…(一社)スマート水道推進協会会長・(株)日本設備工業新聞社顧問 坂本弘道 ◎「特別連載」平成を偲ぶ パロディ狂歌集(1)～平成役人百首…弁護士 野平大魚 ◎「見てきたような話⑬」口説き文句…低空飛行機 ◎新・撮った写真が5万枚!? ◎「IDE研究所」いでこうじ ◎建築着工統計(2019年2月)…国土交通省 ◎新製品紹介 ◎ニュースファックス ◎エッセイ 西村修一、新田純子

[6月号]

◎「シリーズ 次代を担う衛生・環境工学者 No.31」岐阜大学工学部 社会基盤工学科 准教授 山田俊郎氏を訪ねて フィールド調査から水道工学まで地域の特性に応じて取り組む～原点は中学時代の実験、高校時代から衛生工学を目指す～「水道ネットワーク通信 有村源介 ◎住宅の新築やリフォームをお考えの皆様へ 次世代住宅ポイント制度の対象建材・設備の具体の型番を公開しました!」国土交通省 ◎「ふくしまグリーン復興構想」の策定について「環境省 ◎「中小企業の事業活動の継続に資するための中小企業等経営強化法等の一部を改正する法律案」が閣議決定されました…経済産業省 ◎建設業許可業者数調査の結果について…国土交通省 ◎平成29年度における浄化槽の設置状況等について…環境省 ◎夏季の省エネルギーの取組について…省エネルギー・省資源対策推進会議・省庁連絡会議決定 ◎「地方で輝く個性派企業①」長崎 協和機電工業(株)もの造りとエンジニアリング技術で全国へ、アジアへ 代表取締役会長 坂井秀之氏に聞く…水道ネットワーク通信 有村源介 ◎「明日への道標」仕返しをしない勇氣～ランチ・リッキーとメジャーリーグ～(株)日本設備工業新聞社 代表取締役社長 高倉克也 ◎★いま注目のLIXILショールーム～PART 4～…月刊コア編集部 ◎「数遊びぞの2」おもしろ脳トレ講座…加藤千賀 ◎「東京ブラリルポ」上野動物園、池袋サンシャイン水族館…(一社)スマート水道推進協会会長・(株)日本設備工業新聞社顧問 坂本弘道 ◎銅管フェスティバル2019 初の配管技術セミナーが盛況…月刊コア編集部 ◎平成最後の公共建築工事標準仕様書制定と防食鋼管規定…IDE研究所 井出浩司 ◎「特別連載」平成を偲ぶ パロディ狂歌集(2)～平成役人百首…弁護士 野平大魚 ◎「見てきたような話⑭」再び尻トレのはなし…低空飛行機 ◎建築着工統計(2019年3月)…国土交通省◎新製品紹介 ◎ニュースファックス ◎エッセイ 西村修一、新田純子

地下鉄の液晶ディスプレイで新作映画『ゴジラ キング・オブ・ザ・モンスターズ』の予告篇が流れていた。濃霧が漂うモノトーンの画面にゴジラが登場し、天空に向かって雄叫びのように熱光線を放つ。キャッチ・コピーの「王が目醒める」を彷彿させる映像美にわたしは思わず見惚れていた。

新作は2014年に公開されたハリウッド版ゴジラの続編で宿敵のモスラ、ラドン、キングギドラなども復活する。日本発のゴジラ映画は1954年、アメリカによる核実験の申し子として誕生した。ジュラ紀から生息していた水棲爬虫類が被曝して怪獣化したという設定だ。公開8カ月前に南海ビキニ環礁における水爆実験で遠洋まぐる漁船の第五福竜丸が被曝し、犠牲者を出すという衝撃的な事件も起こっていた。ゴジラは核の恐怖を体現する悲劇的なシンボルとして人々を震撼させる。

反戦・反核の観点によるゴジラ論に対して映画評論家の川本三郎は戦没兵士の亡霊説を提起した。海からやって来て海に還っていくゴジラは南太平洋で戦死した兵士たちの化身だという。川本説は民俗学者の赤坂憲雄や文芸評論家の加藤典洋らに支持され、補強され、論議を巻き起こした。

2016年に公開されて話題になった『シン・ゴジラ』は東日本大震災の襲来に見立てられている。ミステリー作家の笠井潔による戦後論『テロルとゴジラ』では核の脅威を現実化した福島原発事故をゴジラと等置し、必然的に引き起こされた人災と批判した。ゴジラは過去の遺物ではなく現代のリアルな危機の象徴として何度でも甦る。(高倉)

給排水・衛生・環境設備の総合誌

月刊「コア」第356号

令和元年7月10日発行 定価1,000円(本体926円)

発行編集人 高倉克也

印刷所 (株)日本設備工業新聞社出版事業部

発行所 〒150-0031東京都渋谷区桜丘町10-13

(野元第1ビル)(株)日本設備工業新聞社

TEL (03) 3496-4774(代)

FAX (03) 3464-1884